

学校のようす

平成二十八年一月〜三月

依田窪南部中学校

今年度もありがとうございますございました

今年思ったより雪が少なく、もうすでに春を感じる陽気の口が多く見受けられています。

保護者の皆様には、日頃よりの学校の教育活動に対して深いご理解ご協力をいただき、おかげさまで今年度も大きな事故等がなく、無事に乗り越えることができました。感謝申し上げます。

平成二十七年でも、先日行われた卒業式をもって終了となりましたが、三学期の様子を少しだけご紹介させていただきます。



約2ヶ月に渡り行われた体育館天井耐震補強工事が終了。照明もLED化されました。



3年生の山浦さんがスキートの大会で全国大会出場！町長さんへ表敬訪問をして、激励を受けました。1年生の川田くんはスノボで全国出場！



中学校説明会のリハーサルを和田中の1年生にも見てもらいました。後日、逆に和田中の中学校説明会のリハーサルを見せてもらい、お互いに意見交換もできました。

実際の中学校説明会の様子です。小学6年生とその保護者の前で堂々と発表をすることができていました。原稿を見ずに、大きい声で発表をしている生徒も多かったです。



統合に向けて1年生が和田中の1年生と百人一首大会を楽しみました。初めは緊張した様子もありましたが、最後には笑い声も起きていました。



今年度も入試出陣式で、合格祈願の大ダルマに目を描き入れました。少しハプニングもありましたが、全員の合格を祈っています。



1・2年生ではクラスマッチが行われました。熱気あふれるプレーがたくさん見られました。(写真は2年生の様子)

南中コラムより

一月八日

始業式で、学年代表として目標発表していただいたのその言葉に、印象に残った言葉が幾つかあった。

まず一年生の荻原くん。「宿題」提出ノート（）を作業としてこなしていた「自分を振り返り、やり方次第では、予習復習にちなむので今学期がけいけん、考えてやるつもりだったというつもりであった。二年生の本庄さん。美化委員 会副委員長として、「野原」一番清掃が出来る中学校にしたいという大きな目標を掲げたいとのこと。そして三年生の伏見さん。総務部員になるという具体的な夢を持ち、それを実現させるため高校で知識を学び、資格を取りたいと言っていた。それぞれ素晴らしい目標である。他の人もそれぞれ目標があると思うが、言葉がけで終わらせず、確実に達成するの学期のことほし。

一月二十五日

先週から、雪の多く降る日がけいけん見られるようになってきた。ありがたみはないが、降りながらのも困る。雪がきの分拍が、初大雪の日に係の先生から出されたのだが、次の日の朝にすくすく雪が降った。その日の日に分拍が出されたにもかかわらず、多くの部活動の人たちが、雪の降る中、一生懸命に雪がきをしていただいていた。分拍ではあるが、部活動の中で情報がうまく伝わっていかかったり、また先輩が指導をしななければいけないに動けるものではない。いつもの繰り返しになるが、部活動で何を学ぶか、これが重要である。勝利以外の大事な部分を、学んでいる姿に安心した。

二月十日

少し前だが、お昼の放送でボランティア委員会が、



書袋損じハガキの収集を延長するという話があった。理由が、委員長の呼びかけが少なく枚数の集まりが少なかったことに対する責任だと言っていたような気がする。昇降口には、収集のための箱が再度置かれたが、どのくらい入っているのだろうか。その箱に入れるハガキが無い私にとってはその箱を見るたびに心苦しいのだが、収集を計画した正副委員長にとっては回復のことであろうと推察する。別の掲示ボードには、音楽集会後の課題がきちんとまもられて貼られていた。

生徒会が二年生に引き継がれて間もないのだが、それのよんど、自分たちなりに頑張っている。最初から準備はできなけれど、頑張っています。

二月十九日

水曜日の一時間目に和山中一年生との交流会が行われた。今回は、和山中の中学校説明会リハールを、南中一年生が見せてもらっていることになっていた。和山中一年生が来る前に、合唱練習していたのだが、合唱の質が向上しているように感じた。特に男子の声質が深まってきており、三委員会が楽しみになってきた。説明会中は女子の聞く姿勢の良さに驚いた。ほぼ全員が、きちんと頭をあげて動かさず、発表者の方を向いた状況を願うことが無かった様に思う。また、発表途中の突然の質問や発表後の感想発表では、男女何人かが恥ましかがらう姿、堂々と対応する姿がびっくりした。一年生の成長している姿に嬉しさを感じた。

二月二十三日

3回目の縦割りの清掃が始まって、1週間が経つ。この清掃分拍でも、一生懸命に清掃を行っている姿が見られて、清々しい気分になる。自分の担当場所があるので、全



校の様子は明確にわからないのだが、いくつかの清掃場所、より丁寧な活動を確認することができた。東階段では、階段手すり下すき間部分を雑巾がけして掃除する人がいた。2階トイレでは、デッキブラシで床を力いっぱいすって、隅っこの水も残さないように真ん中の所入水をしつかり集めてくれている人がいた。個人の分拍はあるものの、形式的ではあるものの、時間一杯考えて行う清掃は、やはり価値があると思った。

三月九日

先週はいじめあつめたことがあった。いじめあつめる一年生の教室の様子である。校内巡視をしていたのだが、この教室は移動教室の授業で誰もいなかった。移動するので慌てて行くところが入り出さなかったり、荷物か床に落ちていたりする場面もある。しかし、この教室はきちんと整理されていた。

もう一つは全く別件になるが、三年生の男子の対応である。具合が悪くて保健室に来たのだが、中村先生が会議中であつたため、私の方で中村先生に声をかけた。中村先生が会議の部屋から出つてくると、その男子生徒は、自分の具合が悪いこともかわらさず、第一声「会議中、すみません」と言っている。どうしてこのようにすれば、このような学級や生徒が育つか、ぜひ教えてもらいたい気持ちだが沸き上がる同時に、各教室や授業・活動での実践が生かされているのではないかなあと思わされた。

保護者の皆様には一年間本当にお世話になりました。十六日の卒業式は、三年生にとって晴れの式とするため準備を進めてまいりました。在校生および保護者の皆様、地域の皆様のおかげで盛大に送り出していただけることができました。重ねて感謝いたします。

(文責 教頭)